

# 展 示 作 品









# あかぎ児童館 の ま ご の こ の こ の こ

## 自然体験活動

自然体験活動は、こども達の自然への関心を高め、自然の大切さを学ぶ機会となります。



自然体験活動の様子



表彰状授与の様子

## クリーン活動

クリーン活動は、地域の美化と環境意識の向上を図るための活動です。



クリーン活動の様子



クリーン活動の様子

## 交流活動

交流活動は、こども達同士や保護者さんとの交流を促進するための活動です。



交流活動の様子



交流活動の様子



環境学習の様子

## 環境学習

環境学習は、こども達の環境意識を高め、持続可能な社会の実現を目指すための活動です。

## 心育活動

心育活動は、こども達の心の成長を支援するための活動です。



心育活動の様子



心育活動の様子



心育活動の様子



心育活動の様子

# あかぎ

循環すまリサイクルの模範  
お会です。  
遊びながら生産・消費・再生と  
お金の循環を体感します。

# くるくる町







① 私たちもおともだち、いっしょになかよくあそぼうね。



② さいしょは、きいろかったサナギがだんだん、ピカピカとかがやぶ色のサナギになります。もうすこしだよ、がんばって！！



③ たいすきなオウライカガミのはっぱをいっぱいたべてこんなに大きくなりました。そろそろサナギのじゅんぴです。



④ そして、サナギからオオゴマダラにだいへんしん！！



⑤ うんとこしょ、からだをくねくねしながら、しましまのおようふくをめぎす。がんばってもうすこし。



かみしばい!  
オオゴマダラ  
のまき〜

わかかがやく金

### 宮城児童館

### うるまマンダロープキッズ

マンダロープ活動を通しての、環境学習が主ですが他にもいろいろなかつどうをしています。

<19年度の主な>

- ① マンダロープアラスやカレンダーの清掃・絵巻・観察
- ② 水辺の観察・木質調査
- ③ 宮城島探検（歩け歩けピクニック）
- ④ リサイクル活動（フリーマーケット・工作）
- ⑤ 看板づくり
- ⑥ オオゴマダラの観察





「あるはれたひの」あさ、じどうかんの「ホウライカガミ」のはっぱのうらに「オオゴマダラ」がたまごをうんだよ！



4うまれて一日目のようちゆうは、ちっちゃくてまだ、しましまもあいてんてんもありません。



なかすみさんとゆりさんがみつけたよ！！



5ひにちがたつとしましまがでてきました。



6とっても小さくて、きいろい、丸いたまごです。早くたまごからうまれなかなー。



7赤いおようふくになって、おともだちと元気にあそんでいます。



7私たちもおともだち



8たいすきな

なりました。そ



9うんとこし

ます。がんは

# 泡瀬干潟の生物

## 1. 泡瀬干潟とは？

沖縄本島・沖縄市の東海岸、中城湾に面する泡瀬干潟は、面積290ヘクタール、琉球列島のなかでは、現在一番大きな干潟です。今、ここに185ヘクタールも埋め立てる東部海浜開発計画が動き出しました。(2002年3月20日)

泡瀬干潟は、豊かな植生、また、貴重な生物が、たくさんいます。この生物を守るため、埋め立て地の問題に反対する人もいます。



〈沖縄本島〉



## 2. 泡瀬干潟の生物(鳥類)

サギ科 イオサギ ダイサギ ナウサギ アマサギ コサギ クロサギ ササブリ アイサギ ヨシゴイ ヲウキウヨシゴイ	カモ科 オシドリ ヒドリガモ オカヨシガモ コガモ オオガガモ シマアジ ハシビロガモ カルガモ	チドリ科 ムナグロ ダイゼン コチドリ シロチドリ メダイチドリ オオメダイチドリ	ツバメ科 ツバメ ヲウキウツツバメ
タカ科 ミサゴ サシバ	クイナ科 バン オオバン ヒクイナ	カモメ科 ウミネコ アジサシ エリカモメ	セキレイ科 キセキレイ ハクセキレイ
ハヤブサ科 チョウゲンボウ ハヤブサ	ハト科 ドバト キジバト		



シロチドリ



# 千潟

石原さん・島本さん  
鳥袋さん・仲村さん

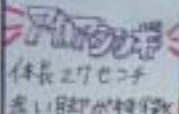


**ハマシギ**  
体長 17センチ  
沖瀬島内や  
伊東半島の一か所ドリ類にも  
アサギ類、ゴカイ類、貝類などの採食  
します。大型のハチジウナ。

渡り鳥

鳥類に閉じていて、冬には千潟沖とこの島に  
（40種）の種が確認されている。ハチジウ  
（60種）の種が確認されている。ハチジウ  
また、渡り鳥（26種）が冬に確認されてお  
り、北はシベリア南はオーストラリアに亘  
る、東アジア・オセアニア地域の渡り鳥の移  
動地や越冬地となっていることでも知られ  
てい。渡り鳥の渡来数は、回沖瀬本  
島に仕立するラムサール条約登録湿地  
である千潟より少ない。

**鳥の類**



**ハマシギ**  
体長 27センチ  
美しい羽が特徴  
な美しいシギです。品出類、甲殻類  
類などを採食します。沖瀬千潟  
では、春秋の渡り鳥類に少  
数の群れで見られます。

## REKIJI

明確な記録が出てくる18世紀ま  
では、現在の沖瀬地区周辺は「あ  
せ浦」と呼ばれる中城湾にでき  
た砂州の無人島であったと考えら  
れてい。当時、琉球王国には人  
口が増え、土俗の数が官職に村  
として増え、たために「長屋土族」  
の数を増進していた。以降、  
沖瀬は沖瀬でも有数の人口規  
模・密度の集落になっていく。

目録に記述されているものは約3000種が  
確認されている。目録の数が得られた種も含め  
ると約5000種（種群）とい。海  
や千潟に特徴的な種も多く、その中には、マヤ  
ゲマキ類やフジノハマグリ、シシゲマキマツア  
イなど、新種も思しき種や日本では沖瀬千潟  
ほか登録地が確認されていない種も含ま  
れる。

## 貝について

**ハマシギ**  
体長 21cm  
沖瀬千潟で見られる代表的な鳥類  
でも、大群れで行動し、千潟や砂地  
などでじっくり歩き、貝類、ゴカイ類などを  
採食します。



**ハマシギ**  
体長 24cm  
沖瀬千潟  
で最も個体数が多い



多く確認されている千潟です。群れで生  
活するものが多く、主にミズミズ類や甲殻類を  
採食します。沖瀬では方言で「ハルシギヤ」と  
呼ばれ親しまれている鳥です。沖瀬千潟が本  
島最大の産地です。

今回沖瀬千潟につ  
いて調べて、初めて知  
りました。ラムサール条約  
登録地よりも沖瀬  
千潟の方が鳥の渡来  
数が多いことがわかり  
ました。記事にはしてい  
ないが、海にはいなくとも  
がいたりして、驚きました。

当時の沖瀬千潟は入道塩田で  
成に達した千潟であり、塩田に  
して年々が採られていた。  
明治時代に入り、塩田造成など  
による人工的改善によって、沖瀬  
は島から千潟へと姿を変えてい  
ることが確認されている。  
大正時代の一九〇五年には、沖瀬の製  
塩量が約1万石をピークとし、国内も歴々の  
規模となる。この頃の沖瀬は、南  
取引の主要港となり、当時、沖瀬は本島  
中部の商工業地域として発展していた。  
製塩業のほかに、砂糖精糖の製造業  
が盛んであった。逆に、専業農  
家は少なかった。  
一九四四年（旧太平洋戦争）にも  
アメリカ軍の空襲により、沖瀬は集落  
の多くを焼失し、一九四五年四月には沖  
瀬本島がアメリカ軍に上陸され、激しい戦  
闘に陥り、沖瀬本島は中部には壊滅した。  
そして、日本軍の敗戦後、沖瀬は全島が  
軍用地とされこされた。  
一九七二年沖瀬県が日本に復帰し、一九八  
〇年に沖瀬県沖瀬中城湾委同発基本計  
画を決定する。この計画が推進する沖瀬  
千潟の埋め立て計画の背景となる。

# 3. 埋め立て問題

## 泡瀬干潟の生き物



**ミサゴ**  
ツバメ目 / ツバメ科  
海空を行き、水中の魚をとりまわす。泡瀬干潟では大きな魚など多く見られる。



**ダイサギ**  
コウノトリ目 / サギ科  
ツバメに似る。脚が長く、全身白い。スズメガサ。水辺をめぐり、魚や蟹、カエル、カニなどを食べます。泡瀬干潟でも、数多く観察されています。



**アカアシシギ**  
シギ目 / シギ科  
赤い脚が特徴的な美しいシギです。尾は黒く、甲殻類などもとります。泡瀬干潟では、春の渡りの時期に数多く見られます。観察ですが、少数が越冬します。



**キアシシギ**  
シギ目 / シギ科  
赤い脚が特徴的な美しいシギです。尾は黒く、甲殻類などもとります。泡瀬干潟では、春の渡りの時期に数多く見られます。観察ですが、少数が越冬します。



**ムナグロ**  
チドリ目 / チドリ科  
泡瀬干潟で最も個体数が多く確認されているチドリです。主にミミズや甲殻類を採食します。

今、泡瀬干潟では、東部海浜開発の埋め立てで、問題となっています。まず、泡瀬干潟は、環境省の重要湿地指定地であり、沖縄県は、厳正な保護を計り、手をつけてはいけない地域とされています。また泡瀬干潟は生態系全体として見ることで、海草移植の成否や、クビレミドロなどの個体の移植の成果のみで判断はできません。そんな中、泡瀬干潟では、図のように、土地利用計画が立てられています。そこで、泡瀬干潟の埋め立ての問題は、次のようなことがあげられます。



- ① 泡瀬干潟を埋め立てすることによって、生き物のすみかがなくなってしまうこと。
- ② 埋め立ての実現がまだしていないのに、はやくも「土地利用計画の変更が検討されていること。」
  - ・リゾート地構想でありながら、立地が確実なホテルがないこと。
  - ・計画されている住宅用地(26ha)は、ホテル従業員として計画されているものであり、ホテルが建てられなかつたら、住宅建設もなくなる。
  - ・人工ビーチが計画されているが、周辺は深い海(水の深さ約6m)であり、砂の流出などがあり、維持管理が大変である。沖縄市の財政負担になること。

※ この計画が実現できないのであれば、原点に立ち返り、市民に情報を提供し、市民合意を得るための行政手続を行うべきである。「みなとまちづくり検討委員会」をたちあげ、その答申で土地利用計画変更を行うことは、行政手法として間違っている。世界に誇る貴重な干潟・海域・観光に活用できる貴重な場所を埋め立てるに値するのかが、もう一度考え直すべきである。

市民は泡瀬干潟を残して、自然を大切にしようと考えています。そのために、今、現在「泡瀬干潟を守る会」で埋め立て問題で反対運動が行なわれており、署名を集めて、沖縄市の東門美津子市長に提出したそうです。もともと、泡瀬干潟は、年間を通じて日常的に釣りや貝採り、潮干狩り、水遊び、自然観察などで地域の人口に利用され、人と自然の豊かな触れ合いの場、自然体験を通じた環境教育の場として、人にとって大きな価値を持っている場所であり、干潟には人々の思いが込められた石碑が立ち、海岸にはそれを臨むようにほころが建てられ、人口と泡瀬干潟とのつながりが伺える。また、かつて漁に使われていた魚垣も残され、地域の文化や歴史を伝える場でもあり、すこく環境のいい所でもあります。このまま泡瀬干潟はどくなってしまうのでしょうか？

**感想**  
この泡瀬干潟生物について調べて、数多くの生物がいる事が分かり、埋め立てる事で、泡瀬干潟の自然や珍しい生物がなくなってしまう。市民の人達が反対するのはとてもよく分かりました。これからは、埋め立てについて、もう少し考えてもらい、泡瀬干潟の自然や生物が少しでも多く残ってほしいと思いました。

# これがウワサの...

# 千潟

# 泡瀬千潟新聞

垣新島 里宮  
山川 宮里 本村



## 泡瀬千潟は宝宝箱

## ★世界一の千潟

サンゴが生息できる千潟  
貝の生息している種類  
の数が320種類と世界  
ナンバー1である

・新種が発見された数が  
9種類と世界でもまれに  
みない数。

・絶滅危惧種が多い

・海藻の種類が沖繩  
の九割を占めている



## 将来性のない埋め立て

埋め立て地にリゾートを建  
築する予定だがそこに  
建てたいという企業が  
一件もない

埋め立てにかかると費用  
の少しは沖繩市民が負  
担しなければならぬ

人工ビーチも計画さ  
れているが、周辺の深  
さが6メートルで砂の  
流出などがあり、その  
維持費が大きく、これ  
も沖繩市民が負担  
しなければならぬ

締め的一句

ありがとう 泡瀬千潟よあじふ

## カンジウ

過去に、宮古でも同

じような埋め立て問題  
があった。それは結果  
的に埋め立てられた  
が、その埋め立て地に  
ホテルなど色々建  
てる予定だったがど  
この企業も名乗り  
出ずに、結局218  
億円かけて埋め立  
てたが、40億円で売  
ってしまった。

このことと、泡瀬千潟  
のかけがえのない自然  
のことを考えると埋  
め立ては、せめて、自然を  
残した方がいいと思う。

# 泡瀬千潟の埋立事業



**ラムサール条約**  
 ラムサール条約は、一九七一年に制定され、一九七五年発効した国際条約の存在に際して、国際条約が、水質にとり重要な生態系を有する湿地を保護し、かつ、日本が締結した正式条約は、時に水質の悪化防止として、国際的に重要な湿地として扱われる。

**埋立理由**  
 泡瀬埋立事業は経済発達のために始まり、しかし、環境維持のために一時中止することになりました。

千潟は、川と海をつなぐ自然環境で、さまざまな生物が住み、繁殖を繰り返しているだけでなく、渡り鳥のルートとなっており、外国ともつながっている。だから、ラムサール条約のような国際的な条約ができたのです。

昔の日本には、大小さまざまな千潟が存在していて、8万2600haもあった。

**泡瀬埋立事業の現状**  
 しかし、今では40%が、消失して、5万1462haとなっていました。もし、埋立した場合、90%がなくなる。

**もたらすもの**  
 泡瀬埋立事業は、私には関係ないと思っている人が多いだろう。しかし、泡瀬埋立事業は、私達にも関係してくる。取得した埋立地が売却できなかった場合は、この費用の回収はできず、沖縄市が最終的な負担をしなければならぬ。沖縄市の一般会計の予算規模は、2008年度で約488億円であるから、最終的には最大で約63%にも上る費用負担をしなければならぬ。沖縄市には0.1度末で約3億円の負担(沖縄市の人口は約12万4000人であるから、一人当たり21万7000円の負担があることを考えると、本整備計画の推進は、沖縄市に重大なリスクをもたらすことになる。なので、沖縄市の住民も税金を払わなくてはならない。だから、沖縄市に住む人が少なくなってしまうのではないかと、不安をひかたない。

## 埋立の良い点

環境・水と緑・スポーツ・健康・にぎわい・バリアフリーをキーワードに埋立てた土地には、サッカーパークや野球場、多目的グラウンドなどのスポーツコンベンションや、DFSとアウトレットを核としたショッピングモール、地に面したレストラン街などのところに出きます。よって地域の活性化が期待されます。

## 埋立の悪い点

- 埋立で貴重なサンゴが消滅する
- 新たな米軍用地の提供になってしまう
- 泡瀬千潟は、野鳥・渡り鳥の宝庫です
- 埋立事業に合理性がないこと!

## 埋立事業費

- 国が308億 沖縄県が180億
1. 沖縄県・国からの埋立地取得費 213億
  2. 沖縄市からの埋立地取得費 184億
  3. 地盤改良費 42億
  4. 基盤整備費 92億
  5. 基盤整備費 32億



# 消えゆく自然

# 泡瀬干潟



## 消滅する干潟

本土復帰を前後して、これまで私たちの周囲から干潟が急激に失われてきました。その干潟の特徴や生き物たちの分布、生活史などの実明がなされないまま、これまでの沖縄の干潟の多くが埋め立てられ、消え去ります。

沖縄県最大の干潟、泡瀬干潟の埋め立て工事が環境保全や土地利用計画の是非を十分に吟味することもなく2002年、始まりました。この数年間の間に、糸満南浜、宇地泊干潟、与那原海岸、与根干潟が埋め立てられました。



## 1. 泡瀬干潟の汚染

干潟の汚染は、主に家庭から出る生活排水が原因である。その排水は比屋根団地の横を通る川を通じ、比屋根埋地を通り、泡瀬干潟へ流れ出る。川は比屋根を始め、沖縄市のはぼ中心を通っている。生活の排水が毎日流れ出ているのに聞わらず、泡瀬干潟はさほど汚染が目立たない。それはなぜなのだろうか？

## 2. 自然の浄化機能

干潟には浄化機能があり、それは、自然の中でも特に注目されています。何十億円、何百億円という巨費を費やす大規模公共事業の一つに下水道建設事業、下水浄化施設建設事業がありますが、自然の干潟にはこれらの施設と同様の、あるいはそれによってはその以上の浄化機能があります。

人工的に造られた浄化槽では泥を培地にし、微生物を利用して有機物を分解するシステムを採用しているものが普通ですが、それと同様のことが自然の干潟でも行われています。エアレーションの動力源として電気を使わなくても自然の干潟では潮の満ち引きによって十分な空気が供給され、干潟に生息する生き物たちが陸域から運ばれる有機物を分解し、水を浄化してくれるのです。

## 感想

干潟にはこのような浄化機能や他にさまざまな利益があるのに、そう簡単に埋め立てていいのかと疑問に思いました。もし埋め立てて、産業を取り入れそれが失敗してしまったらただの環境破壊にしかたないし、埋め立てて、浄化機能を失った干潟に汚染物質が流れ出た時、浄化されないまま海へ流出して生態系にも大きな影響を与えてしまう。そのような大きな問題になってしまう前に、もっと慎重に考えてほしいと思う。



# 見切り発車をしないのが

# 埋立新聞

バー  
ク  
元  
隆  
博  
貴  
博  
貴  
博  
貴

## 埋立計画は合理的？

土地利用計画があまりにも杜撰であり、将来性がない。埋立が実現しないのには早くも「土地利用計画の変更」が検討されていること。

① リゾート地構想でありながら、リゾート地構想ではないが、希望のホテルが確定ではないこと。土地社

② 計画されている住宅用地はホテル従業員の住宅として計画されているものであり、ホテルの立地が無ければ住宅建設もない。

③ 客船埠頭が計画されているが、将来性がなく、赤字が予想される。(客船埠頭は釣堀になるおそれもある)

④ 人工ビーチが計画されているが、周辺は深い海(水深約6m)であり、砂の流出などがあり、維持管理が大変である。沖縄市の財政負担になる。

⑤ 沖縄市が購入する土地の5分の1は米軍用地であり、広場としての活用し

### 開発の基本方針

- 1 国際交流リゾート拠点の形成
- 2 海洋性レジャー活動拠点形成
- 3 情報・教育・文化の拠点形成
- 4 環境と共生する港湾空間の形成

国際性

親水性

海洋性



新計画案  
環境: リサイクル、車歩道分離、野鳥園、環境創造の森など  
スポーツコンベンション  
天然芝のサッカーコート7面  
ローンテニスコート3面  
野球場(ドームの考え方もあり)  
多目的グランド2面(ラグビー、サッカー)  
健康効用型リゾート  
ショッピング&レストラン  
2つの宿泊施設(コンドミニアム、リゾートマンション含む)  
運河を挟んで二つのコンセプトの異なるショッピングエリア  
沖縄らしいチャンネルブリッジ

「宿泊施設」の規模を縮小、1区内に集約し  
環境共生的なエリアにシフト  
「野鳥園」の環境創造の森と  
環境共生的なエリアを新たに提案  
「環境創造の森」として環境学習に活用  
多目的の広場、サッカーパーク  
「野鳥園」は環境共生的なエリア  
「環境創造の森」は環境共生的なエリア  
「野鳥園」は環境共生的なエリア  
「環境創造の森」は環境共生的なエリア

## 埋立予定案

